

えのもとだより

その症状は前立腺肥大症かも？

年のせいとあきらめていませんか？

トイレのために何度も夜中に起きる。排尿に時間がかかってしまうといった症状があっても「年のせい」とあきらめていませんか？

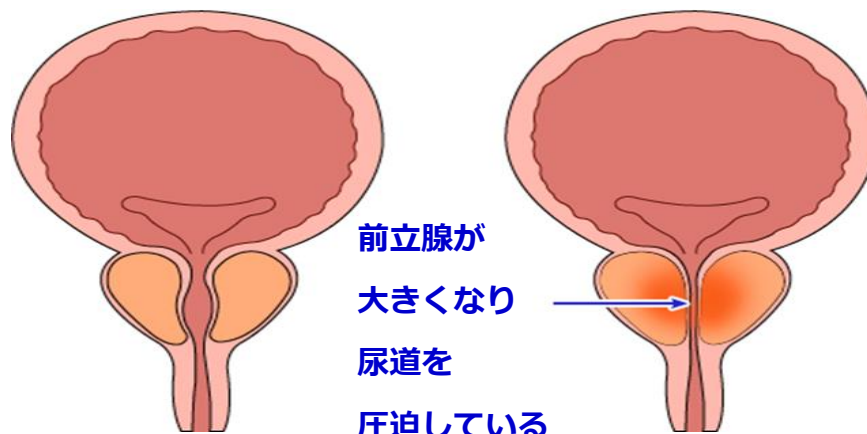
上記のような症状に心あたりのある方は前立腺肥大症の可能性がります。前立腺肥大症が悪化すると、尿道が完全にふさがり尿が出なくなったり、腎臓にも悪影響を及ぼし、日常生活にも大きな支障をきたすことがあります。



前立腺肥大症とその原因

前立腺は膀胱の下にあり中を尿道が通っています。栗の実ほどの大きさでその重さは数グラムほどのものです。この前立腺が加齢とともに肥大化することで尿道や膀胱が圧迫され、さまざまな尿路障害が出てくるのが前立腺肥大症です。

前立腺肥大症の原因についてはっきりしたことはわかっていませんが、加齢とともに男性ホルモンの分泌が減りホルモンバランスが崩れることが主な原因と考えられています。



正常な前立腺

肥大した前立腺

前立腺肥大症の症状

年齢が高くなるにつれ前立腺肥大症に悩む人の数が増え、統計によると 55 歳以上の男性の 2 割の人たちに前立腺肥大の症状があることがわかっています。

症状は人によりさまざまですが、具体的な症状として次のようなことがあげられます。

- ① 排尿後、まだ尿が残っている感じがする（残尿感）
- ② トイレが近い（頻尿）
- ③ 尿が途中で途切れる（尿線途絶）
- ④ 急に尿意をもよおし、もれそうで我慢できない（尿意切迫感）
- ⑤ 尿の勢いが弱い（尿勢低下）
- ⑥ おなかに力を入れないと尿がでない（腹圧排尿）
- ⑦ 夜中に何度もトイレに起きる（夜間頻尿）



診断と治療

排尿障害などで日常生活に支障がある場合にはまず医師に相談しましょう。

一般的に初診時に行われるのは問診で、どんな症状で困っているのかを具体的に伝えます。自覚症状の程度がわかったあとは、前立腺や膀胱、尿道の状態を調べるための検査を行うことがあります。

排尿障害があるからといって必ずしも前立腺肥大症であるとは限らないため、他の病気の可能性も含めて確認するための検査です。

なお、治療には薬による治療と手術による治療法があります。